

大相撲の経済学

～そこに見える日本社会～

慶應義塾大学
中島隆信

2013年9月12日

経済産業研究所 (RIETI) BBLセミナー

「大相撲」とは何か

- ◆ 競争を制限するしくみ
 - 個人別総当たり、移籍、再入門は禁止
 - ◆ 年功制
 - 褒賞金制度、大関という楽園、年寄制度
 - ◆ 曖昧なルール
 - 立合い、番付編成、物言い、団体取り直し
 - 新しいシステムを伝統的に運用（ビデオ、優勝決定戦）
 - ◆ 転用が難しい特殊な人的資本
 - 学歴、生活習慣、体型（横綱白鵬の成長）
- ➔ 内部完結的で閉鎖的な世界（cf. JUDO）



角界の不祥事とその原因

◆ 2007年以降の相次ぐ不祥事

- 暴行死、薬物、野球賭博、暴力団、八百長など

◆ 表面的原因

- モラル低下、教育不足、能力低下

◆ 根本的原因

- 閉鎖社会ゆえの身内ルール
- 相撲部屋ありきのガバナンスの欠如
- 世の中の変化に対応しきれない決断の遅さ
- トカゲの尻尾切りに終始、組織変革できず



より深刻な角界の構造的問題

◆ 年寄名跡問題

- 人材を残すのではなく、カネでポストを買う

◆ 相撲部屋の相続問題

- 個人財産ゆえに地価高騰で東京から離散

◆ 潜在失業者の滞留

- 引退できずに高齢化、雑用係、中盆（三段目33歳）

◆ 深刻な場所の不入り

- 2008年度からの累積赤字70億円超、経営責任ゼロ

◆ 経営と現場が分離できていない

- 師匠が審判と理事を兼任、司令塔の不在



大相撲を通して日本社会を見る

◆ 閉鎖社会の論理

- 会社人間、永田町の論理、象牙の塔

◆ 曖昧さ

- 癒着、談合、根回し

◆ 潜在失業

- 会社人間が職を失ったときの居場所は？

◆ 何を守るために何を変えるべきか

- 「競争」と「協調」の配合比率

◆ 司令塔とガバナンスの不在

- 現場の声に振り回され、決められない



ご清聴ありがとうございました